


第 58 期

事業報告書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

 まごころの奉仕
福島県南酒販株式会社

事業報告

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

当期のわが国経済をみますと、前期末に発生した東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所の未曾有の事故により、本県への直接的被害はもとより、国内全体に甚大な影響を与えました。その後、震災復興の動きとともに個人消費を中心に持ち直しを見せましたが、欧州経済の混迷や円高の進行などにより、今後の本格的な景気回復は不透明な状況にあります。

一方、酒類業界では人口減少、少子高齢化や嗜好の多様化などから、酒類の消費数量が伸びず、特に売上金額では低価格商品などの台頭で消費数量を上回る減少傾向が続きました。

また酒類免許の規制緩和以降、一般酒販店から組織小売業や量販型の新業態に売場の中心が移るとともに、低価格化の流れが依然続いており、市場環境は引続き厳しい状況下にあります。

このような中、当社は第2次中期経営計画の2年目を迎え、より一層営業力ならびに商品力の強化、業務全般にわたる合理化、効率化の推進に取り組み収益性の向上に努力して参りました。大きく落ち込んだ経済は、復興需要によって一時期よりは回復傾向にあるものの、依然として厳しい状況にある中で営業努力の結果、当期の売上高は257億4千万円（前期比105%）と前々期および前期をわずかながら上回ることができました。

また利益面におきましては、売上高の増加と利益商材の開発や販売促進活動などにより売上総利益は前期を上回りました。

一方、経費面では、業務の合理化、効率化により経費削減に努めました結果、営業損益段階では引続き欠損ながら前期より改善することができました。また、資産の効率的運用による収益の改善ならびに震災に伴う修繕費用の軽減努力、売掛債権の回収促進など費用削減の結果により、5期ぶりに経常利益および当期利益を計上することができました。

<品種別売上状況>

当社の品種別売上状況は次の通りです。

品 種 区 別	売 上 金 額	構 成 比
和 酒	5,366,266 千円	20.9 %
ビ ー ル	10,710,956 千円	41.7 %
発 泡 酒	1,135,885 千円	4.4 %
新ジャンル	2,254,459 千円	8.8 %
洋 酒	2,272,974 千円	8.9 %
食品その他	3,939,897 千円	15.3 %
小 計	25,680,437 千円	100.0 %
不動産収入	62,682 千円	
合 計	25,743,119 千円	

(2) 設備投資の状況

当期は極力設備投資を抑制したため、特記すべきものはありませんでした。

(3) 資金調達の状況

当期の所要資金は自己資金および借入金により賄いました。

(4) 対処すべき課題

今後の国内経済は、雇用情勢や個人消費に緩やかな回復傾向がみられるものの、円高水準の継続や欧州の債務問題などの影響から本格的な景気回復には不透明な状況が続くものと予想されます。福島県内においては復興の動きの本格化が期待されますが、原発事故による風評被害も加わって雇用情勢や個人消費などに影響が懸念されます。

酒類業界では、健康を重視した適正飲酒化の流れがますます強まり、飲酒運転の厳罰化とともに、酒類に対する社会的規制や販売管理の必要性が高まっております。

当社といたしましては、酒類が社会的に受け入れられる商品として、良質で安全であることの情報を消費者へ発信していくことが酒類業全体の健全な発展に繋がっていくものと考えております。第2次中期経営計画の最終年度であり、「攻めの姿勢・謙虚に学ぶ姿勢・自分を磨く・志と意欲」を柱に全社員一丸となって目標達成に向かって邁進し、お取引先様の繁栄にお役立てできる地域卸として努めて参る決意でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 財産及び損益の状況の推移

区 分	第55期 (20.4-21.3)	第56期 (21.4-22.3)	第57期 (22.4-23.3)	第58期 (当期)
売 上 高(千円)	27,297,895	25,326,049	24,593,313	25,743,119
経 常 利 益(千円)	△178,891	△118,660	△78,512	16,370
当期純利益(千円)	△335,695	△211,862	△351,446	22,418
1株当り当期純利益(円)	△1,165	△735	△1,220	77
総 資 産(千円)	7,925,299	7,650,767	7,189,096	7,715,970
純 資 産(千円)	4,255,666	4,044,255	3,657,764	3,668,015
1株当り純資産(円)	14,776	14,042	12,700	12,736

(6) 重要な親会社及び子会社の状況

① 親会社との関係

当社には該当する親会社はありません。

② 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	出資比率	主な事業内容
(株)県南サービス	13,000千円	100%	コンビニエンスストアおよび駐車場経営並びに保険代理業等
常磐食品酒類販売(株)	43,000千円	100%	酒類飲料水その他食品の買入れ及び販売

(7) 主要な事業内容

- ① 酒類の買入れ及び販売
- ② 清涼飲料その他食料品及び日用雑貨類並びに貴金属類の買入れ及び販売
- ③ 店舗用機器の買入れ及び販売並びに賃貸借
- ④ 運送並びに倉庫業
- ⑤ 土地建物の売買並びに管理業
- ⑥ 生命保険の募集に関する業務
- ⑦ 前各号に付帯する一切の事業

(8) 主要な営業所 (平成24年3月31日現在)

本 社 郡山市字菜根屋敷20番地 1

チェーン事業部 (郡山市)

広域流通部 (須賀川市)

郡山支店 (須賀川市)

福島支店 (福島市)

白河支店（白河市）
 いわき支店（いわき市）
 田島支店（南会津町）

相馬支店（相馬市）
 会津支店（会津若松市）

(9) 従業員の状況

区 分	従業員数	前年同期比	平均年齢	平均勤続年数
男 子	103名	+1名	44.0歳	22.8年
女 子	28名	+3名	33.9歳	13.9年
計	131名	+4名	42.0歳	20.8年

(注) 従業員数には出向社員は含まれておりません。

(10) 主要な借入先

借 入 先	当期借入金残高
東邦銀行 菜根支店	65,919千円
郡山信用金庫 菜根支店	65,826千円

2. 会社の株式に関する事項

- (1) 発行済株式の総数 288,000株
 (2) 株主数 1,829名（前期末比19名減）
 (3) 大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	持 株 比 率
笹の川酒造(株)	18,931株	6.6%
最上恒夫	15,136株	5.3%
山口哲行	11,198株	3.9%
吉成 優	10,546株	3.7%
平野清彦	5,453株	1.9%
鯨岡康雄	3,627株	1.3%
松本健男	3,307株	1.1%
森 春雄	3,136株	1.1%
佐藤アイ子	2,921株	1.0%
猪狩正江	2,504株	0.9%
柳沼新蔵	2,503株	0.9%
アサヒビール(株)	2,500株	0.9%
国 分(株)	2,500株	0.9%
宝酒造(株)	2,500株	0.9%

- (4) その他株式に関する重要な事項
特にありません。

3. 当社の新株予約権等に関する事項

当社は新株予約権等を発行していません。

4. 会社役員に関する事項（平成24年3月31日）

(1) 取締役および監査役の状況

氏名	地位	担当
※最上恒夫	取締役会長	
※山口哲行	取締役社長	
内山俊秀	取締役	福島支店長
今泉浩之	取締役	営業本部本部長
近藤豊二	常勤監査役	
鳥海伸彦	監査役	

(注) 1. ※印は、代表取締役です。

2. 監査役鳥海伸彦氏は、公認会計士および税理士の資格を有し、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

(2) 執行役員の状況

氏名	地位	担当
折笠孝夫	執行役員	管理本部本部長
安田輝則	執行役員	管理本部副本部長兼業務推進部長
岡田光弘	執行役員	いわき支店長
佐藤洋一	執行役員	営業本部副本部長兼営業統轄部長
志賀雄二	執行役員	営業本部広域流通部長

5. 会社の体制および方針

業務の適正を確保するための体制

- (1) 取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
- ① 取締役会は、取締役の業務執行を監督し、善良なる管理者としての注意義務・忠実義務の履行状況の確保や違法行為等の阻止に取り組む。
 - ② 取締役の職務執行状況を、監査役は監査基準、監査計画に従い、監査する。

- (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
 - ① 取締役の職務執行に係る文書その他の情報は、社内規程に従い、適切に保存および管理する。
- (3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
 - ① 個別の重要リスクについては担当部門を明確にし、当該部門がリスク低減活動に取り組む。
 - ② 重大な危機が発生した場合には、代表取締役を本部長とする緊急対策本部を設け、損害・影響を最小限にとどめる体制を整える。
- (4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
 - ① 取締役会規則、稟議規程などを整備し、取締役会、代表取締役、部門長の権限を明確化することで、効率的な業務執行が可能となるように権限委譲と責任の明確化をはかる。
 - ② 取締役会決議事項については、審議手続き、内容の適正を担保するため、事前に常務会などにおいて十分な審議を行う。
 - ③ 中期経営計画および年度予算を定めるとともに、当該計画達成のため、目標管理制度、部門業績評価制度などの経営管理システムを構築する。
- (5) 使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
 - ① コンプライアンスに係る教育を階層別または職種別を実施する。
- (6) 当社およびその子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
 - ① 子会社においては、当会社の基準に則り諸規則の整備を含め、業務の適正を確保する体制を整備する。
 - ② 各子会社のコンプライアンスへの取組みに関し、指導・教育を推進する。
- (7) 取締役および使用人が監査役に報告するための体制
取締役および使用人は、監査役の求めるところに従い、次の事項を定期的もしくは必要に応じて監査役に報告する。
 - ① 取締役の職務の遂行に関する不正行為、法令、定款に違反する事実
 - ② 会社に著しい損害を与える恐れのある事実
- (8) その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するため

の体制

- ① 代表取締役は、定期的に監査役と意見交換を行う。
- ② 常務会、経営会議、執行役員会等、重要な会議には、監査役は出席する。
- ③ 常務会、その他監査役が指定する会議体の議事録および稟議書を監査役が閲覧できる状態を維持する。
- ④ 監査役が必要と認める場合、監査業務について外部専門家による支援を確保する。

以上

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位 千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,670,829	流動負債	3,477,279
現金及び預金	380,057	支払手形	358
受取手形	152,421	買掛金	3,144,698
売掛金	2,190,991	短期借入金 <small>(1年以内返済長期借入金)</small>	12,000
商品	456,713	未払金等	125,925
未収金	317,115	未払法人税等	2,891
預け金	1,164,033	預り金	92,727
その他	26,839	賞与引当金	37,000
貸倒引当金	△ 17,343	リース債務	61,678
固定資産	3,045,141		
有形固定資産	2,320,172	固定負債	570,676
建物	450,685	長期借入金	119,745
構築物	33,323	退職給付引当金等	370,002
車両及び什器備品	6,430	リース債務	80,928
土地	1,752,234		
リース資産	72,582	負債合計	4,047,955
建設仮勘定	4,916	純資産の部	
無形固定資産	99,273	株主資本	3,652,595
ソフトウェア	444	資本金	145,000
借地権等	23,055	資本剰余金	44,654
電話加入権	424	資本準備金	44,654
リース資産	75,350	利益剰余金	3,462,941
投資その他の資産	625,695	利益準備金	36,250
投資有価証券	258,578	その他利益剰余金	3,426,691
関係会社株式	153,529	別途積立金	3,391,200
長期貸付金	23,821	繰越利益剰余金	35,491
長期前払費用	18,319	評価・換算差額等	15,419
繰延税金資産	165,688	その他有価証券等差額金	15,419
その他	45,074		
貸倒引当金	△ 39,315	純資産合計	3,668,015
資産合計	7,715,970	負債・純資産合計	7,715,970

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(自 平成23年4月 1日)
(至 平成24年3月31日)

(単位 千円)

科 目	金	額
売上高		
売上高	25,680,436	
不動産収入	62,682	25,743,119
売上原価		24,545,997
売上総利益		1,197,121
販売費および一般管理費		1,269,733
営業損失		72,611
営業外収益		
受取利息および配当金	24,846	
有価証券運用益	46,681	
保険解約返戻金	13,388	
その他の営業外収益	24,442	109,358
営業外費用		
支払利息	12,339	
その他の営業外費用	8,037	20,376
経常利益		16,370
特別利益		
災害関連収益	56,364	
固定資産売却益	11,732	68,096
特別損失		
退職給付過去勤務債務等償却額	14,683	
災害関連損失	5,674	
事業整理損失	3,232	23,590
税引前当期純利益		60,876
法人税、住民税および事業税	1,423	
法人税等調整額	37,034	
当期純利益		22,418

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位 千円)

	株 主 資 本							
	資本金	資本剰余金		資 本 剰余金 合 計	利益剰余金			利 益 剰余金 合 計
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金		その他利益剰余金			
					別 途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	145,000	44,654	44,654	36,250	3,761,200	△345,407	3,452,042	
当期変動額								
別途積立金の取崩					△370,000	370,000	0	
剰余金の配当						△11,520	△11,520	
当期純利益						22,418	22,418	
株主資本以外の 項目の当期変動額								
当期変動額合計	0	0	0	0	△370,000	380,898	10,898	
当期末残高	145,000	44,654	44,654	36,250	3,391,200	35,491	3,462,941	

	株主資本合計	評価・換算差額等	
		その他有価証券 評価差額金	
			純資産合計
当期首残高	3,641,697	16,067	3,657,764
当期変動額			
別途積立金の取崩	0		0
剰余金の配当	△11,520		△11,520
当期純利益	22,418		22,418
株主資本以外の 項目の当期変動額		△647	△647
当期変動額合計	10,898	△647	10,250
当期末残高	3,652,595	15,419	3,668,015

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

1. 当該事業年度の末日における発行済株式総数
当該事業年度の末日における発行済株式の数は、288,000株であります。
2. 当該事業年度の末日における自己株式の数
当該事業年度の末日における自己株式はありません。

3. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成23年6月24日の定時株主総会において、次の通り決議いたしました。

株式の種類	普通株式
配当金の総額	11,520千円
一株当たりの配当額	40円
基準日	平成23年3月31日
効力発生日	平成23年6月24日

個別注記表

○ 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準および評価方法

- ① 関係会社株式：移動平均法による原価法
- ② 満期保有目的の債券：償却原価法（定額法）
- ③ その他有価証券

時価のあるもの：決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入方式により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。なお、組込デリバティブを区分して測定することができない複合金融商品は、複合金融商品全体を時価評価し、評価差額を当期末の損益に計上しております。）

時価のないもの：移動平均法による原価法

2. 棚卸資産の評価基準および評価方法

- ① 商品：移動平均法に基づく原価法
- ② 貯蔵品：移動平均法に基づく原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産：土地・建設仮勘定以外の有形固定資産については、定率（リース資産を除く）法により減価償却を実施しております。なお、平成10年4月1日以降に取得した建物については、定額法により実施しております。
- ② 無形固定資産：自社利用のソフトウェアの償却方法については、社内（リース資産を除く）における利用可能期間（5年）による定額法によっております。
- ③ リース資産：所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

4. 引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金：売上債権・貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、また貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金：従業員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込額のうち当事業年度における負担額を計上しております。
- ③ 退職給付引当金

イ. 従業員の退職金の支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込み額に基づき、当事業年度に発生していると認められる額を計上しております。会計基準変更時差異については9年間にわたり每期均等額を費用処理し、過去勤務債務については6年間にわたり每期均等額を費用処理しております。

また、数理計算上の差異については、発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定率法により案分した額を、発生の事業年度から費用処理することとしております。

ロ. 役員の退職慰労金の支給に備えるため内規に基づき、期末要支給額の

100%を計上しております。

5. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が会計基準適用初年度開始前のリース取引につきましては、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6. 消費税の会計処理

税抜方式によっております。

監 査 報 告 書

私たち監査役は、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第58期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。子会社については、子会社の取締役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する取締役の職務執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成24年5月31日

福島県南酒販株式会社

常勤監査役 近藤 豊 二 ㊟

監査役 鳥海 伸彦 ㊟

役員（平成24年6月22日現在）

代表取締役会長	最上恒夫	
代表取締役社長	山口哲行	
取締役	今泉浩之	営業本部長
常勤監査役	内山俊秀	
監査役	鳥海伸彦	
執行役員	安田輝則	管理本部長兼業務推進部長
執行役員	佐藤洋一	営業本部副本部長兼営業統括部長
執行役員	志賀雄二	営業本部広域流通部長
執行役員	大平裕孝	郡山支店長

株 式 メ モ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月下旬
配当金受領株主確定日	3月31日
株主名義書換停止期間	毎年4月1日から定時株主総会の終了の日まで
株式事務取扱場所	郡山市字菜根屋敷20番地1 福島県南酒販株式会社 〒963-8863 TEL024-932-3250 なお当社各支店でお取り次ぎいたします。

本社・支店所在地

営業所名	〒	住 所	電 話
本 社	963-8863	郡山市字菜根屋敷20番地 1	024(932)3250
チェーン事業部 (ハローショップチェーン本部)	963-8863	郡山市字菜根屋敷20番地 1	024(931)2838
広域流通部	962-0001	須賀川市森宿字道久19-11	0248(63)7866
郡山支店	962-0001	須賀川市森宿字道久19-11	0248(75)5127
福島支店	960-2154	福島市佐倉下字金沢3-5	024(594)2720
白河支店	961-0888	白河市字十三原道上3-37	0248(22)1561
相馬支店	976-0042	相馬市中村字笹川32-1	0244(35)5176
いわき支店	979-3131	いわき市平赤井字畑子沢1-61	0246(36)2131
会津支店	965-0059	会津若松市インター西27	0242(25)1611
田島支店	967-0004	南会津郡南会津町田島字中町甲3900番地 1	0241(62)0524